

モンパ

——インド・ブータン国境の民

わきた みちこ

脇田道子著 ▼A5判・上製カバー・六〇四頁・本体六、〇〇〇円十税

2019年3月刊行



インド北東部の辺境に暮らす少数民族モンパの世界を、衣装・伝統文化・言語・自治要求・観光などを通じ、細密かつ生き生きと描き出した力作。

【目次】

口絵 序章

- 第一節 チベットとインドの狭間に生きるモンパ
- 第二節 研究の視座
- 第三節 現地での情報収集について
- 第四節 本書の構成

第一章 国境地帯に暮らすということ

- 第一節 アルナーチャル・プラデーシユ州の概況
- 第二節 アルナーチャル・プラデーシユ州の歴史
- 第三節 タワン県、西カメン県の歴史とモンパ
- 第四節 モンパとは誰のことか
- 第五節 仏教以外の信仰
- 第六節 モンパの生業

第二章 民族表象としての衣服

- はじめに
- 第一節 エスニック・シンボルとしての衣服
- 第二節 モンパ女性の民族衣装
- 第三節 新しく取り入れた民族衣装
- 第四節 一枚布から貫頭衣という共通衣服へ
- 第五節 腰当て布が表象するもの
- 第六節 民族衣装の行方

第三章 伝統文化と現代——タワン県を中心に

- はじめに
- 第一節 チベット仏教文化の定着——タワン僧院のトルギヤ祭とドンギル祭
- 第二節 国境をまたぐ民俗儀礼の現在——ヤク・チャムの事例から
- 第三節 伝統工芸の行方——モクトウの紙漉きの事例から

第四章 言語とアイデンティティ——ポータティ語教育とモン自治要求運動を事例として

- はじめに
- 第一節 北東インドとラダックにおける言語と自治地域要求運動の背景
- 第二節 ポータティ文字・ポータティ語教育と第八附則要求
- 第三節 文字の創造
- 第四節 自治地域要求の目的と運動の経過
- 第五節 大規模デモとさまざまな反応

第五章 シャングリ・ラへの挑戦——国境地帯のツーリズムの現状と課題

- はじめに
- 第一節 観光人類学の視座
- 第二節 インドの辺境開発——ルック・イーストからアクト・イーストへ
- 第三節 観光の現状
- 第四節 聖地とツーリズム
- 第五節 政治とツーリズム

終章 参考文献／あとがき／索引

◆著者略歴

一九五一年、東京都生まれ。早稲田大学第一文学部日本史学専攻卒業。旅行会社に二八年間勤務した後、大学院へ。二〇〇六年、立教大学大学院文学研究科博士前期課程修了。二〇一四年、慶應義塾大学大学院社会学研究科後期博士課程単位取得退学。博士（社会学）。現在、日本ブータン研究所研究員。専攻は、文化人類学、及び南アジア地域研究。インドのアルナーチャル・プラデーシユ州、ブータン東部を中心に調査・研究を継続中。
主な論文は、「民族衣装を読む——インド、アルナーチャル・プラデーシユのモンパの事例から」（鈴木正崇編『森羅万象のささやき——民俗宗教研究の諸相』風響社、二〇一五年）。「ブータン東部におけるツーリズム導入に関する一考察」（『慶應義塾大学大学院社会学研究科研究紀要』、二〇一〇年）など。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
脇田道子著 法藏館 本体六、〇〇〇円十税	
モンパ ——インド・ブータン国境の民	
ISBN: 978-4-8318-6240-2 C3039	
お名前	住所
お電話	

ご注文はFAX: 075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

文化人類学